

西根

ザ・てらだフェスティバルに地域一丸



人気アニメのみこしを担ぎ地区内を練り歩く園児たち

西根寺田のふるさとにぎわい創出事業、ザ・てらだフェスティバルは7月17日、聖福寺境内を主会場に行われました。祭りは寺田小の鼓笛隊パレードでスタート。伝統の野口鹿踊りを奉納し、五穀豊穰などを祈願しました。目抜き通りでは子どもみこしや、NHKの大河ドラマ「巧妙が辻」をモチーフにした山車が練り歩き、祭りムード一色。地区内は夜までカラオケや演芸会で盛り上がりました。

3日間にぎわいみせた八坂神社例大祭

恒例の八坂神社例大祭は7月16日、同神社境内を主会場に行われ、会場は大勢の人で活気づきました。14日には、境内の相撲場で大更小育成会の奉納相撲を開催。4年生以上の109人、女子7人が出場し、学年別の個人戦や地域ごとの26チームによる団体戦が行われました。翌15日には、前夜祭として第18回大更ガーデンフェスティバルがフーガの広場で開かれました。郷土芸能や園児

のお遊戯、吹奏楽演奏などが行われ、会場は大にぎわい。松川一の宮太鼓が勇壮に太鼓を打ち鳴らし、訪れた人々たちを楽しませました。16日はいよいよ本番。八坂神社にはたくさんのお店が並び、親子連れやカップルなどで満員御礼。会場では、神楽やさんさ踊りが披露されたほか、地区内を山車やみこしが「ワッショイ、ワッショイ」と掛け声を掛けながら練り歩き、祭り気分を盛り上げました。



大更ガーデンフェスティバルで勇壮な鼓動を響かせる松川一の宮太鼓の皆さん



大きな山車が威勢のよい掛け声とともに練り歩き、祭り気分を盛り上げました

白球を追う高校球児の熱いドラマ開幕

高校球児が甲子園への切符をかけて戦う全国高等学校野球選手権岩手大会は7月13日に開幕しました。雨による順延で試合は14日から市総合運動公園野球場など県内6球場で熱戦が繰り広げられました。八幡平球場では1回戦から3回戦までの10試合が組まれました。14日の初戦は大槌高と久慈高の対戦。始球式は田村正彦市長が務め、ストライクをミットに投げ込み、球児の熱い夏が始まりました。



始球式でミットにストライクを投げ込む田村市長

八幡平市

八幡平の魅力づくり考えるシンポジウム

十和田八幡平国立公園の八幡平地域指定50周年を記念して、八幡平市観光シンポジウム(市観光協会主催)は7月19日、森林ふれあい学習館で開かれました。

7月に国立公園指定50周年を迎えた八幡平地域の新たな魅力づくりを考えようと、市内の観光関係者など約80人が参加しました。内閣府などが認定する「観光力リスマ百選」に選ばれて



山田桂一郎さん(写真左から2人目)や横沢市観光協会会長(写真右)も出席

いる山田桂一郎さんが「先進地事例に見る今後の観光のあり方」と題して、ヨーロッパを中心に活躍している経験を基に講演。パネルディスカッションでは山田さん、環境省盛岡自然保護官事務所の二神紀彦さん、盛岡地方振興局の宮沢一久産業振興特命課長、市観光協会の横沢盛悦会長の4人が意見を述べました。横沢会長は「歴史、文化など、地域に住む自分たちの中にある観光資源の魅力を見いだすことが大切。健康、癒し、心をテーマにした体験型の観光を八幡平の魅力としたい」と話しました。



国立公園指定50周年を契機に、八幡平の新たな魅力を発信しようと観光関係者約80人が参加しました

県内最大の商工会誕生し記念式典開催

会員約800人で県内最大の商工会となった、市商工会(高橋富一会長)の誕生記念式典は7月5日、八幡平ハイッで開かれました。式典には、観光関係者など約170人が出席。高橋会長が「新商工会の運営と事業活動は、旧3町村商工会の実績を踏まえながら、会員の声を十分に聞いて行いたい」とあいさつしました。市商工会は4月1日に旧3町村商工会が合併し、設立されています。



記念式典には商工関係者約170人が出席しました

漆の光沢が輝く、世界で一つだけの箸



漆塗りの箸に思い思いの模様を描く参加者たち

安代地区の伝統工芸・漆塗りを体験し、理解を深めようと6月15日、松尾地区の女性16人が安比塗漆器工房で漆箸絵付け体験をしました。参加者には箸一膳と漆に顔料を混ぜた赤、青、黄の3色を準備。参加者は、筆やスポンジを使いながら、箸に模様や名前などを思い思いに描きました。箸は漆が定着するまで2、3週間ほど乾燥させて完成。世界で一つだけの箸を手にし、参加者は満足していました。

安代

安代中60周年を記念して空撮でパチリ

創立60周年を迎えた安代中学校は6月30日、記念事業の一つとして、航空機撮影を行いました。

同校では「未来への発信」をテーマに各種記念事業を展開。この日は、全校生徒や教職員、地域の人など149人が参加して、校庭に「60周年安代中2006」の人文字を描き、上空から鮮やかにカメラに写し出されました。同校では10月29日に創立60周年記念式典と祝賀会を開催する予定です。



生徒など149人が人文字を描きました



地域で継承されてきた先祓いを奉納する中高生たち(折壁・八幡神社の祭典)

ニコラさんサンキュー・ベリー・マッチ



帰国を前にニコラさんと記念撮影をする田山小の児童

安代地区の外国語指導助手ニコラ・アン・フオードさんは、7月で任期を終えニュージールランドへ帰国しました。

ニコラさんは、平成16年7月に旧安代町に着任。小中学生に英会話の指導をするとともに、英語圏文化に理解を深めてもらおうと、2年間授業や交流を行ってきました。

7月12日には田山小学校でお別れ会を開催。英語を使ったゲームなどで楽しみ、全校でアーチを作り見送りました。

各集落神社が同日開催・田山統一祭典

安代地区田山の各集落の神社が開催日を合わせて祭典を開く田山統一祭典は7月15、16の両日、各神社で開かれました。

この祭りは、五穀豊穡や家内安全を願う田山稲荷、八幡、兄川稲荷、八坂、根渡など田山地区内の神社でそれぞれ開催。郷土芸能の先祓いの先導で、みこし行列が集落内を練り歩きました。

八幡神社の祭典では、集落内の子どもたちが元気いっぱい先祓いを披露。沿道では、地域の人たちが、威勢の良い太鼓や鐘の音に合わせて舞う姿を楽しもうと出迎えました。

田山地区の伝統芸能・先祓いの装束や舞は、神社ごとに異なり、地域の人たちが継承してきました。この先祓いを小中学生に伝えようと、練習が重ねられています。

松尾

釜石など強豪が集いラグビーフェスタ

第14回ラグビーフェスタ2006 IN HACHIMANATAIは7月15、16の両日、松尾陸上競技場と上寄木グラウンドで開かれました。

この大会は、夏の涼しい気候と天然温泉、天然芝のグラウンドが多数ある松尾地区をラグビー関係者にPRし、合宿などを誘致して観光振興につなげるが目的です。



タックルを受けながらも味方にボールをつなぎ、43対31で勝利した釜石シーウェイブス

初日のメインゲームには、関東の強豪タマリバクラブと釜石シーウェイブスの試合が組まれました。試合は松尾陸上競技場で行われ、観客席は地元釜石を応援しようと満席になりました。釜石は前半、連続攻撃で36対5とタマリバを圧倒。後半、タマリバが鋭いタックルで釜石の出足を押さえ、流れはタマリバに傾きました。後半は7対26と釜石が追い上げられましたが、結局43対31で釜石が勝ちました。

このほか、東北地区の強豪高が集まり交流戦なども行われ、条件の整った会場での試合を満喫しました。



前半は試合を有利に進める釜石フィフティーン

五穀豊穡や家内安全などを祈る長嶺神社の祭典は7月16日、長者屋敷跡にある同神社の境内などで行われました。

会場内にある相撲場では、松尾地区の小学生が参加して奉納相撲を開催。個人や団体戦などを行い、元気いっぱい取組を見せ、場内を沸かせました。

この後、小学生が伝統芸能の田植え踊りや工夫をこらしたソーラン節を披露し、訪れた人を楽しませました。

長嶺神社祭典で豆力士が好取組を披露



好取組の連続で会場を沸かせた小学生力士たち



フランスギクなどの外来種を丁寧に駆除する参加者

美しい八幡平を守るため外来種を駆除

八幡平の貴重な在来植物と、美しい自然環境を守ろうと八幡平クリーンキャンペーンは7月14日、見返峠周辺で行われました。

松尾中学校の自然愛護少年団とボランティアなど約300人が参加。フランスギクなど繁殖力の強い外来種を、ピッカーと呼ばれる特殊な器具で根元から駆除しました。

八幡平では道路整備などにより外来種が増加し、植生が損なわれる心配があります。